インフラストラクチャーの計画と設計（第 7 回）

2005 年 11 月 15 日　福田大輔

１．連絡事項

・　先週の現場見学会の写真を講義ホームページに掲載しました（手ブレ多数）.

２．中間発表会までの予定（シラバス掲載のスケジュールから一部変更）

11 月 15 日（火）　通常演習
11 月 22 日（火）　前半：外部講師特別講演(1)　国土交通省航空局飛行場部　村山伊知郎様
「わが国の空港整備の動向」
後半：通常演習
11 月 29 日（火）　休講（金曜日の講義）
12 月 06 日（火）　前半：外部講師特別講演(2)　東急電鉄(株)鉄道事業本部　城石典明様
「東急電鉄の各種プロジェクトについて」
後半：通常演習
12 月 13 日（火）　前半：外部講師特別講演(3)　(株)ケー・シー・エス　牧野幸子様
「住民参加によるコミュニティ・ゾーン・バリアフリー啓発プログラム」
後半：通常演習
12 月 20 日（火）　中間発表会（13:00 集合）

（外部講師特別講演について）
・　いずれも 13:20～15:00 に M311 号室で行う. 居眠り厳禁. 通常の演習時より出席を重視.
・　全講演終了後に，受講レポートを提出してもらう（講師の先生方に送付）.

３．基本コンセプト発表会・第一回レポートについて

（発表方法）
・「1：非常に悪い～3：普通～5：非常によい」の 5 段階評点で採点を行った.
・　コンセプト提示までの根拠や説得力が弱い．コンセプトそのものを再検討する必要も.
・　パワーポイントの表現上の工夫．発表と質疑の役割分担.
・　その他の個別コメントについては，配付資料を参照のこと.
（レポート）
・　図表を他から引用した場合, 必ず出典を銘記する (剽窃［ひょうせつ］という違反行為).
・　目次やページ番号，見出しの通し番号をつける.
・　図，表，写真の通し番号をそれぞれ付ける．キャプションの位置.
・　参考文献・参考ホームページ一覧を最後に記載する.

４．中間発表までの大まかな流れ

・　各班とも，(a) 需要予測などのデータ解析，(b) アンケート調査とその分析，(c) 関連制度の理解, (d) それらを踏まえた上での複数個の代替案作成, の作業を行うこととなる.
・　分析方法については，書籍や報告書を積極的に活用すること．資料の大半を福田研（緑が丘 5 号館 2F）で管理している．書籍や資料は基本的に全て貸し出し可能.
・　その他にも，地図ソフトウェア，CAD ソフト等も使用できる.

（本日の部屋割り）

- 緑が丘 3 号館 M311 講義室：　1，3，4 班
- 緑が丘 1 号館 2F 製図室：　5，6，7 班
- 緑が丘 5 号館 2F 福田研究室：　2 班

- 以下の表は，教員 4 名，TA7 名の採点結果の項目別平均値である．
- プレゼン：パワーポイントの見やすさ，分かり易さ．
  内容：発表内容の充実度・テーマの理解度，　質疑：質疑への応対の的確さ

班	プレゼン	内容	質疑
1	3.0	3.1	3.6
2	3.8	4.0	4.2
3	3.1	3.4	3.2
4	2.8	3.0	3.0
5	4.3	4.6	3.7
6	3.5	3.5	3.3
7	4.0	4.3	4.0

- 緑が丘 3 号館 M311 講義室：　5，6，7 班
- 緑が丘 5 号館 1F 会議室：　2，3，4 班
- 緑が丘 5 号館 2F 福田研究室：　1 班

- 緑が丘 3 号館 M311 講義室：　1，2，3 班
- 緑が丘 5 号館 1F 会議室：　4，5，6 班
- 緑が丘 5 号館 2F 福田研究室：　7 班